

資金収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

学校法人 土岐学園

(単位：円)

【収入の部】			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	120,263,760	120,780,694	△ 516,934
手数料収入	1,514,000	2,364,740	△ 850,740
寄付金収入	300,000	300,000	0
補助金収入	7,839,000	11,301,000	△ 3,462,000
資産売却収入	0	37,986,936	△ 37,986,936
付随事業・収益事業収入	6,020,000	18,740,000	△ 12,720,000
受取利息・配当金収入	0	5,378	△ 5,378
雑収入	2,144,640	7,284,107	△ 5,139,467
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	0	32,768,336	△ 32,768,336
その他の収入	0	101,791,328	△ 101,791,328
資金収入調整勘定	0	△ 76,605,279	76,605,279
前年度繰越支払資金	0	139,106,799	△ 139,106,799
収入の部合計	138,081,400	395,824,039	△ 257,742,639
【支出の部】			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	105,106,144	110,599,637	△ 5,493,493
経費支出	71,166,520	66,109,673	5,056,847
借入金等利息支出	2,825,256	2,825,577	△ 321
借入金等返済支出	0	16,500,000	△ 16,500,000
施設関係支出	0	10,010,000	△ 10,010,000
設備関係支出	0	8,453,843	△ 8,453,843
資産運用支出	0	45,000	△ 45,000
その他の支出	0	104,101,403	△ 104,101,403
資金支出調整勘定	0	△ 52,817,099	52,817,099
翌年度繰越支払資金	0	92,009,072	△ 92,009,072
支出の部合計	179,097,920	357,837,106	△ 178,739,186

事業活動収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

学校法人 土岐学園

(単位：円)

教育活動収支	教育活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		学生生徒等納付金	120,263,760	120,780,694	△ 516,934
		手数料	1,754,000	2,364,740	△ 610,740
		寄付金	300,000	6,882,000	△ 6,582,000
		経常費等補助金	7,839,000	11,301,000	△ 3,462,000
		付随事業収入	6,020,000	3,740,000	2,280,000
		雑収入	2,144,640	7,284,107	△ 5,139,467
		教育活動収入計	138,321,400	152,352,541	△ 14,031,141
	教育活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		人件費	105,106,144	110,599,637	△ 5,493,493
		経費	96,236,005	94,014,186	2,221,819
		徴収不能額等	0	257,400	△ 257,400
		教育活動支出計	201,342,149	204,871,223	△ 3,529,074
	教育活動収支差額		△ 63,020,749	△ 52,518,682	△ 10,502,067
事業活動収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	0	5,378	△ 5,378
		その他の教育活動外収入	15,000,000	15,000,000	0
		教育活動外収入計	15,000,000	15,005,378	△ 5,378
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	2,825,256	2,825,577	△ 321
		教育活動外支出計	2,825,256	2,825,577	△ 321
	教育活動外収支差額		12,174,744	12,179,801	△ 5,057
	経常収支差額		△ 50,846,005	△ 40,338,881	△ 10,507,124
	特別収支		0	0	0
不動産売却額		0	0	0	
特別収支差額		0	0	0	
基本金組入前当年度収支差額		△ 50,846,005	△ 40,338,881	△ 10,507,124	
基本金組入合計		△ 50,846,005	△ 25,045,843	△ 25,800,162	
当年度収支差額		△ 50,846,005	△ 65,719,138	14,873,133	
前年度繰越収支差額		0	△ 1,054,258,319	1,054,258,319	
翌年度繰越収支差額		△ 50,846,005	△ 1,119,977,457	1,069,131,452	

貸借対照表

令和4年3月31日

学校法人 土岐学園

(単位：円)

【資産の部】			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	1,342,344,979	1,345,158,652	△ 2,813,673
有形固定資産	1,339,782,143	1,342,640,816	△ 2,858,673
その他の固定資産	2,562,836	2,517,836	45,000
流動資産	107,661,603	144,392,055	△ 36,730,452
資産の部合計	1,450,006,582	1,489,550,707	△ 39,544,125
【負債の部】			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	595,500,000	612,000,000	△ 16,500,000
流動負債	84,789,531	67,494,775	17,294,756
負債の部合計	680,289,531	679,494,775	794,756
【純資産の部】			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基本金	1,889,360,094	1,864,314,251	25,045,843
第 1 号基本金	1,889,360,094	1,864,314,251	25,045,843
繰越収支差額	△ 1,119,643,043	△ 1,054,258,319	△ 65,384,724
純資産の部合計	769,717,051	810,055,932	△ 40,338,881
負債及び純資産の部合計	1,450,006,582	1,489,550,707	△ 39,544,125

財産目録

令和4年3月31日

学校法人 土岐学園

(単位：円)

科 目	年 度 末
I. 資産総額	1,450,030,111 円
1. 固定資産	1,342,368,508 円
(1) 土地	778,312,090 円
(2) 建物	516,063,129 円
(3) 建物附属設備及び構築物	25,504,927 円
(4) 教育研究・その他機器備品、車両、図書	19,925,526 円
(5) その他	2,562,836 円
2. 流動資産	107,661,603 円
(1) 現金預金	92,009,072 円
(2) その他	15,652,531 円
II. 負債総額	680,289,531 円
1. 固定負債	595,500,000 円
2. 流動負債	84,789,531 円
III. 正味財産	769,740,580 円

監 査 報 告 書

令和 4 年 5 月 25 日

学校法人 土岐学園
理事長 宮 崎 公 嘉 様

学校法人 土岐学園

監事 野村 昌史 
監事 前崎 信孝 

私たちは、学校法人土岐学園の監事として、私立学校法第 37 条第 4 項に基づいて同学園の令和 3 年度（令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで）における会計制度の整備及び運用並びに計算書類（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表並びに附属明細表）及び理事の業務執行状況並びに学校法人の財産の状況について監査を行ないました。

監査の結果、私たちは上記の計算書類は学校法人会計基準（昭和 46 年文部省令第 18 号）に準拠しており、学校法人土岐学園の令和 4 年 3 月 31 日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示していると認めました。

また、理事の業務執行状況並びに学校法人の財産の状況に関する不正な行為または、法令もしくは寄付行為に違反事実のないことを確認いたしました。

令和 3 年度

事業報告書

(令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで)

学校法人 土岐学園

1. 法人の概要

① 建学の精神

【優秀な整備士はすぐれた人格の持ち主である】

学校法人土岐学園は、昭和 39 年に前身である土岐自動車高等整備学校を開校し、昭和 60 年には姉妹校として北海道芦別市に北日本自動車工学専門学校を設立し、これまで数多くの自動車整備士を輩出して参りました。

本学園は「役に立つ人になろう」という校訓を軸とした指導を行い、技術者として車両整備のみに従事する人材ではなく、企業・お客様・お取引様全ての方々の支えになれるような人材を育成しております。また、近年は企業と連携した実践型のカリキュラムで多様性と専門性を養い、技術面においても即戦力として活躍できる環境を整えて参りました。

今後も全職員が校訓を念頭に置いた指導を展開することで、日本の基幹産業である自動車産業の発展に貢献できる人材育成・輩出に努めて参ります。

② 沿革

昭和 39 年	土岐自動車高等整備学校を開校
昭和 45 年	土岐自動車高等整備学校から土岐自動車工学専門学校へ校名変更
昭和 60 年	北日本自動車工学専門学校を開校
平成 15 年	土岐自動車工学専門学校に高等課程自動車科を開設
平成 17 年	土岐自動車工学専門学校から専修学校中部国際自動車大学校へ校名変更
平成 19 年	専修学校中部国際自動車大学校にて一級自動車整備士養成を開始
平成 20 年	北日本自動車工学専門学校から専門学校北日本自動車大学校へ校名変更 専門学校北日本自動車大学校にて一級自動車整備士養成を開始
平成 26 年	両校に職業実践専門課程認定
令和元年	株式会社ネクステージと業務提携

③ 設置する学校・学科（令和 4 年 3 月 31 日現在）

学校名	課程	学科名	入学定員	収容定員	在籍者数
専修学校 中部国際自動車大学校	高等課程	自動車科（昼 3 年）	25 名	75 名	17 名
	専門課程	自動車整備科 2 級整備士コース（昼 2 年）	50 名	100 名	59 名
		自動車整備科 1 級整備士コース（昼 4 年）	※ 10 名	※ 20 名	5 名
専門学校 北日本自動車大学校	専門課程	自動車整備科（昼 2 年）	40 名	80 名	38 名
		自動車工学科（昼 4 年）	10 名	40 名	3 名

※ 前期課程は 2 級整備士コースに含む。

④ 役員等の概要（令和４年３月３１日現在）

役名	氏名	常勤・非常勤の別
理事長（兼評議員）	宮崎 公嘉	非常勤
理事	齋木 修二	常勤
理事（兼評議員）	酒井 啓資	常勤
理事（兼評議員）	西脇 裕史	非常勤
理事	齋木 裕司	常勤
理事（兼評議員）	広田 靖治	非常勤
理事（兼評議員）	浜脇 浩次	非常勤
監事	野村 昌史	非常勤
監事	前崎 信孝	非常勤
評議員	坂中 孝行	非常勤
評議員	山中 学	非常勤
評議員	安江 裕二	常勤
評議員	鈴木 大輔	非常勤
評議員	田中 泰治	非常勤
評議員	宮地 正司	非常勤
評議員	鈴木 文彦	非常勤
評議員	清水 善康	非常勤
評議員	上田 信孝	非常勤
評議員	山下 雄貴	非常勤

⑤ 教職員（令和４年３月３１日現在）

学校名	教員	職員	計
専修学校中部国際自動車大学校	12 名	4 名	16 名
専門学校北日本自動車大学校	8 名	2 名	10 名

2. 事業の概要

① 教育環境・生活環境の充実

1) 両校共通

- ・株式会社ネクステージの店舗見学や整備工場を利用した現場実習を行い、学生の就業イメージの向上と、就職後に即戦力として活用できる技術の習得を図った。また、同社から実習車両を計 11 台寄贈いただき、学生の実習環境レベルの向上につながった。

2) 専修学校中部国際自動車大学校

- ・ノギス・マイクロメータ・ダイヤルゲージ等の精密測定器具、ミッションジャッキ・ガレージジャッキ・エンジンクレーン等の大型整備機器、タイロッドエンドプーラ・ギヤプーラ等の特殊工具の入替を実施し、実習環境の向上を図った。
- ・新たに車体整備の授業を実施するため、スタッド溶接機・赤外線ヒーター・ダブルアクションサンダ等の板金機器、スプレーガン・塗装スタンド・電動ポリッシャー等の塗装機器を新規導入した。
- ・各所に発生していた雨漏り対策として、屋上・外壁の補修対応を実施し、学生の学習環境の整備と建物の保持を実現した。

3) 専門学校北日本自動車大学校

- ・車体整備に必要な板金塗装の基本的な知識や技術を身に付けるため、ボデーリペア棟を活用した鋼板修正・パテ整形・塗装を実施。また、その技術を生かすため、旧車のレストアを実施した。
- ・学生が使用するトイレをシャワー付トイレにリニューアルを実施。学生寮の設備においては、老朽化した洗濯機の全面入替と、洗面所の給湯器設置を行うことで、学生の満足度向上を図った。

② 学生募集活動

1) 両校共通

- ・両校の学校パンフレット内容を刷新し、最新情報の展開と、より高校生が興味を惹かれるビジュアルにて展開することで、資料請求者の来校誘致を図った。また、広告費用としては進路ガイダンス（高校生との直接面談）へ積極投資し、高校生と対面にて学校 PR、各種減免制度や奨学金内容を訴求し、出願意欲の醸成を図った。
- ・従来よりもオープンキャンパスの開催日程を増枠することで、より多くの方が参加しやすい環境を構築。また、各企業様に最新車輛を持ち込みいただくプログラムも展開し、車に対して興味関心を持っていただけのような内容を展開し、出願者数の獲得を図った。
- ・学費がネックになって進学を断念する高校生に対し、提携先企業の奨学金や社外留学制度についての詳細を訴求することで、企業奨学金を活用した入学者の獲得を実現した。（2022 年 4 月入学予定者の利用実績計 4 名）

2) 専修学校中部国際自動車大学校

- ・本格的な留学生募集の活動を展開し、東海圏の日本語学校、専門学校へ広報活動を展開することで、2021 年 4 月に留学生 37 名の受入を実現した。（2020 年度の留学生受入実績 0 名）

③ 就職状況

1) 両校共通

- ・就職希望者に対し早期に就職指導を行うことで、令和4年3月卒業生の就職率100%を実現。また、2023年3月卒業の年次についても、早期に企業様へ説明会の実施依頼・早期に就職試験に向けた指導を展開することで早期内定獲得を実現した。

④ 地域貢献活動

1) 専修学校中部国際自動車大学校

- ・毎月第一月曜日のPM時間を利用し、校内周辺の美化活動及び、周辺事業所の車椅子の出張メンテナンスを実施した。

2) 専門学校北日本自動車大学校

- ・芦別市内小学校2校・中学校2校のPTA組織がコロナ禍で自粛を余儀なくされた子供たちに思い出を残したいとの趣旨で花火大会を企画。小中学校の敷地では安全・騒音に十分な環境を確保できないとのことで、北日本自動車大学校の敷地を提供した。
- ・芦別警察署交通課の視認訓練や、冬場の雪上走行訓練を行うにあたり、北日本自動車大学校敷地内にあるテストコースを提供した。